令和7年度第1回半田市スポーツ推進審議会議事要旨

開催日時	令和7年10月24日(金)	14時30分~15時30分
開催場所	市役所4階 庁議室	
会議次第	1. 開会	
	2. 新任委員委嘱式	
	3. 部長あいさつ	
	4. 委員、事務局自己紹介 資料1	
	5.会長・副会長選出	
	6.【議題】	
	(1)第3次スポーツ推進計画中間見直し(案)について資料2	
	(2) その他	
	7. 閉会	
出席委員	(委員長)加藤博吏	
(欠席委員)	(委員)田中益生、榊原孝彦、日置さと子、近藤和昭、岩田洋	
※敬称略	子、田村悦子、梶川高彦、榊原松成(渡邉彩、磯貝雅代、浅川	
	祐人海)	
事務局	教育部長、スポーツ課長、同主幹、同課振興担当主査、同主事、	
	学校教育課指導主事	
次第	議事概要	
委嘱式	教育部長より、令和7年度から選出された12名のうち、出	
	席委員9名に対し委嘱上の伝達を行いました。委嘱期間(令和	
	7年4月1日から令和9年3月31日)	

【議題】(1)

第3次スポーツ推進計画中

間見直し(案)

について

(事務局)

・第3次スポーツ推進計画ついて資料2等に基づいて説明

—(質疑)-

(榊原孝彦委員)

スポーツ実施率に最も寄与しているスポーツの種目は何ですか?

(事務局)

ウォーキングやランニングなど一人で手軽に実施できるスポーツと思われます。

(榊原孝彦委員)

散歩などをされている方をよく見かけますが、散歩もウォーキングと捉えるとスポーツをしていることにつながるという情報発信にスポーツ課が力を入れることで、実施率の向上につながると考えます。

機構改革に伴い、4. スポーツの意義の(1)と(2)の順番を入れ替えるという説明がありましたが、元のままで良いと思います。

スポーツ推進計画へ反映するかどうかとは異なるものですが、総合型地域スポーツクラブの存在が希薄になってきているのではないかと感じます。行政の支援を受ける総合型地域スポーツクラブとして保持しなければならない公共性など、課題などを議論する場を設けても良いのではないかと考えます。

(田中委員)

資料2の4ページに記載のスポーツ実施率ですが、令和2年度に新型コロナウイルス感染症拡大の影響により 43.3%まで落ち込みましたが、令和5年度には 52.5%まで上昇しています。上昇の要因は、20~30 代や 60~70 代の上昇と思われますが、40~50 代については、横ばいとなっているため何か施策を打った方がいいのではないかと考えます。

例えば、体力測定などを実施すると、体力の低下などを認識 することができ、スポーツへの実施意欲の向上につながり、動 機付けになると考えます。

(榊原松成委員)

グラウンドゴルフ協会の理事を担っており、誰でも実施できる生涯スポーツであるにも関わらず、グラウンドゴルフの実施者の状況では、若年層は実施しません。

大会自体も縮小していくような危惧を感じています。

(田村委員)

資料2の22ページに(4)中学校部活動との連携とありますが、小学生の時からスポーツを楽しめ身体を動かす場が地域にあると良いなと思います。

まずは親子で参加でき、スポーツの楽しさを知る上で、総合型地域スポーツクラブに加入して体を動かそうといった気持ちになれば、中学生になってもスポーツを継続して実施すると考えます。

(梶川委員)

乙川東小学校では実業団の協力のもと、豊田自動織機のラグ ビーチームや、デンソーのバレーボールチームなどによる、子 ども達にスポーツに触れる機会を設けています。

(岩田委員)

スポーツ実施率を 70%に引き上げたことについてですが、中学生の場合は、部活動改革によりスポーツをする子とそうでない子は二極化しています。

現在、部活動への加入は強制ではないため、スポーツクラブに加入する生徒も減少しています。この状況下において、スポーツ実施率の目標値を向上させることは相当高い目標と認識しています。

(近藤委員)